



## プレスリリース

令和7年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

### ザッカゾール市除雪装置付救援隊搬送車両整備計画 贈与契約署名式の実施

エレバン：令和8年3月9日

令和8年3月9日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ザッカゾール市除雪装置付救援隊搬送車両整備計画」（供与限度額：50,570米ドル）の贈与契約署名式が、コタイク州ザッカゾール市メグラゾール村の救援隊基地で開催されました。本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、アハロン・サハキャン・コタイク州知事、ナレク・ハルトウニャン・ザッカゾール市長、ヴォロデヤ・ホヴァニシャン・メグラゾール村長、マリネ・タデヴォシャン非政府組織スピタキ「フソ・ルイス」代表のほか、救援隊関係者やメグラゾール村の住民が参加しました。

本事業は、メグラゾール村において除雪装置付救援隊搬送車両1台を整備することにより、冬季の豪雪による道路封鎖を解消して緊急車両のアクセスを確保するとともに、夏季に頻発する山火事への即応体制の強化を図ることで、ナゴルノ・カラバフからの避難民7,000人を含むザッカゾール市住民22,000人の安全な生活環境の確保に寄与するものです。同地域では、冬季の積雪が1メートルを超えると道路封鎖が頻発し、孤立世帯への緊急車両のアクセスが著しく妨げられてきました。また、夏季には山火事が頻発する中、救援隊搬送車の不足のため現場への到着及び消火活動が遅れ、被害が拡大する事態が続いていたことから、対応が求められていました。

タデヴォシャン「フソ・ルイス」代表は、「この案件は日本とアルメニアの経済協力の象徴です。供与機材は責任をもって管理・活用していきます。また、この地域の自然災害の脅威から住民を守り、人々が安心して生活できる環境をしっかりと整えていきたいと思っております」と謝意を述べました。また、青木大使は「1年前に草の根無償の枠組みのもとでこの救援隊基地を整備し、今回さらに除雪装置付緊急支援車両を供与することで、コミュニティの通年にわたる緊急対応能力が強化されることを嬉しく思います。本車両が消防団員の迅速な現場搬送や冬季の道路除雪に活用され、同地域の住民の生命と安全が長年にわたって守られることを期待しています」と述べました。



贈与契約締結の様子①



贈与契約締結の様子②



謝辞を述べるサハキャン知事



令和5年度「コタイク州ザッカズール市山火事対策強化計画」で整備された救援隊基地